

令和2年度授業改善推進プラン【2年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△漢字の学習は興味をもって取り組む児童が多いが、既習の漢字を文脈の中で使うには繰り返し指導が必要である。</p> <p>△読み返したときに、正しい文章を書けていないことに気付く児童が多い。</p> <p>△必要な情報を正確に聞き取ることが苦手である。</p> <p>△想像しながら読むことを楽しめる児童が多い一方、自分の思いを言語化することが苦手である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を使って文章を作る課題を出し、漢字に興味を持てるようにする。また、お互いに書いた作品を見合い、感想を交流するように指導する。 助詞や促音を正しく使って、文の前後から関連させて正確に理解し、活用できるよう繰り返し指導していく。 黒板にキーワードを書くことで、視覚からも集中して聞くことができるようにする。 児童同士で感想を伝えあったうえで、文を書く。感想が書けない児童には個別に思ったことを聞き、書きたいことを膨らませる。
算数	<p>△単位の換算や定規で線を引くことなどの定着に時間がかかる。</p> <p>△文章問題の内容を理解できずに、立式ができない児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の単元であっても、授業の最初の時間に復習する時間をとり、繰り返し取り組み定着をはかる。 ICT を活用して、立式につながるような絵やアニメーションを示し、問題内容のイメージを膨らませる。
生活科	<p>△野菜の世話を通して、植物の成長の過程に関心をもったり、変化に気付いたりすることに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 植物の成長の過程に関心をもてるよう、ICT を活用して植物の成長の記録を振り返りながら変化に気付けるようにする。 野菜の様子を具体的に児童に伝え、見通しをもつことや振り返りをしながら、成長を楽しむことができるように声かけをしていく。
音楽	<p>△リズム打ちや、鍵盤、木琴などを演奏することに対して苦手意識をもっている児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 音符に親しむことができるように音符カードや拡大楽譜を使って指導する。継続学習で繰り返し練習し、技能向上を図る。
図工	<p>△はさみやカッターなど道具の使い方に課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大型モニターを用いて手元を大きく見せてわかりやすくする。道具の使い方の図を見やすい場所に掲示する。
体育	<p>△友達の良いところまで目を向けることができず、自らの学びにつなげることができない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 他の児童の良いところをカードに記録し、伝えあう時間を設定する。